



ozone  
www.ozone.com

A series of white and blue lines that form a jagged, upward-pointing shape, resembling a stylized mountain range or a signal waveform, located in the bottom right corner of the page.

# SWITCH

取扱説明書

# SWITCH

徹底的に多用途

## 目次

はじめに	01
警告	02
スイッチに関して	03
スイッチ解剖図	04
アクセルシステム	06
装着/調節	08
バックパックモード	12
パラグライディングモジュール	13
レスキューパラシュートの組み込み	16
シート下部プロテクションの脱着	22
パラグライディングからスピードフライングへ	25
使用法・保守	27
オゾン品質保証	30
仕様	31



## はじめに

オゾンを選んでいただきありがとうございます。

フリーフライト愛好家、競技者ならびに冒険者のチームであるオゾンの使命は、最新のデザインと入手可能な最高技術から生み出される素材を使用して最高品質のパラグライダー用装備を創り出すことです。我々の開発チームは南フランスにベースを置いています。近くにはグールドン、モナコ、ブレンヌ峠などのフライトエリアがあり年間300日以上もフライトを可能にしてくれています。これはオゾンのグライダー開発にとって貴重な資産ともいえるものです。装備品の選択にあたっては品質および金額に対する価値が最も考慮されるものである事を知っています。それ故、低価格、高品質を実現するために全てのグライダー製品を自社工場生産するようにしています。製造過程において全てのオゾン製品は多くの厳しい品質検査を受けています。そのおかげで、全てのオゾン製品は我々が期待する高いスタンダードに沿ったものとなっていることを保証できるのです。

オゾン、スイッチあるいはオゾン製品に関してのさらなる情報をお望みの場合は、オゾンのホームページをチェックしていただくか、ファルホークインターナショナル(有)、最寄りのディーラー、スクールあるいはここオゾン本社の我々にご連絡ください。

このハーネスを初めて使用する前に、この取扱い説明書を良く読み内容を理解することは必須です。

安全なフライトを！  
チームオゾン



## 警告

- 全ての航空スポーツは肉体的損傷、麻痺を含む重大な怪我ならびに死亡する危険性の内在するものです。オゾン製品でフライトするには内在する危険性を完全に理解した上で行ってください。
- このオゾン製品の所有者であるあなたは、これを使用するにあたっては、あらゆる危険に対する全ての責任があなたに有る事を自覚して下さい。不適切な使用、改造は危険を増加させます。絶対にしないで下さい。
- 製造者、輸入代理店ならびに販売店に対する、この製品の使用に起因する如何なる損害賠償請求も除外されています。
- 可能な限り練習に励んでくださいー特にパラグライディングにおいて重要な要素であるグランドハンドリングを。地上での貧弱なグライダーコントロールが事故の原因の最たるものです。
- 常にこのスポーツの進化に遅れないよう上級コースに参加するなどして日々学習する習慣を身につけるようにして下さい。フライトテクニックならびに機材は進化し続けています。
- フライトにあたっては登録認証を受け、なおかつ改造されていないグライダー、プロテクション付きハーネス、緊急パラシュートを、その適正体重範囲内で使用して下さい。認証を受けた範囲を超えての使用は保険（賠償責任、生命など）の対象外になる危険性があります。保険会社に確認することはパイロットであるあなた自身の責任です。
- あなたの装備を徹底して日々およびプレフライト点検を実施してください。不適切あるいは損傷している機材では決して飛行しないで下さい。
- 常に、ヘルメット、手袋、ブーツを装着してフライトして下さい。
- フライトに際しては、適切な技能証と有効なフライヤー登録証を持っている事が必要です。
- 肉体的にも精神的にも健康な状態でのみフライトをして下さい。
- あなたの技能・経験に合ったグライダー、ハーネスならびにコンディションを選んでフライトしてください。
- テイクオフする前にフライト場所の地形、気象条件を必ず確認して下さい。疑問の有るときはフライトを断念して下さい。また全ての決定に対しては十分な余裕を持って下さい。
- 雨、雪が降っているとき、風の強いとき、気流の乱れているときあるいは雲中をフライトしないで下さい。
- あなたが適切で安全な判断を下すなら、未永くフライトを楽しむことが出来るでしょう。
- 環境に配慮し、エリアを大事にしてください。
- グライダーならびに関連装備品を廃棄する際には、環境に配慮した方法で行ってください。
- 一般の家庭ごみと同じ方法で廃棄しないでください。

**楽しむことがこのスポーツの目的であることを忘れない様に！**



## スイッチに関して

スイッチはスピードフライング、スピードライディングそしてハイクアンドフライ様にデザインされた多用途のハーネスです。組み立てユニット式かつリバーシブルで、オプションが必要なパイロット向けに完全な機能を備えています。

スプリットレッグとバケットシートの組み合わせによるハイブリッドデザインは、快適なサポートと正確なコントロールを提供します。ランニング、カイトイングそしてスキーイングから着座姿勢へとスムーズに移行できます。簡単にアクセスできるサイドポケット、邪魔にならないスピードバーシステム、耐久性のある2つのバックルによる締結で格好良く使いやすくなっています。

### 組み立てユニット:

- 脱着可能な超軽量バックプロテクション
- スマートでコンパクトなスピードフライングモード
- スピードライディング/フライングモードでの全ての機能を備えたリバーシブルのバックパック
- オプションのバックプロテクションとレスキューコンテナーを備えたパラグライディング用組み立てユニット (モジュール)

### スピードフライングモード

スピードフライング/ライディング/ハイクアンドフライ

スピードフライングあるいは高い山から降下するためのコンパクトでスマートなハーネスを望むなら、バックプロテクターとレスキューコンテナーをジッパーで外して、すっきりした快適な構成にします。

### パラグライディングモード

パラグライダーでのソアリング/ハイクアンドフライ

オプションのパラグライディング用モジュールはシート下部に超軽量膨張式プロテクションおよびレスキューコンテナーを装備してスイッチを、長時間のソアリングフライトや、統合されたレスキューコンテナーとシート下部のプロテクションと言った安全性を強化したい用途に最適です。プロテクションは特製膨張バッグにより空気で膨張され、瞬時かつ容易に優れた衝撃プロテクションになります。



### バックパック

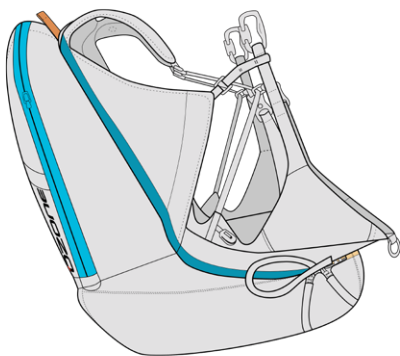
スキー/スノーボードキャリアシステム、コンプレッションストラップ、ドリンクアクセス、快適で人間工学に基づいたサポートフレームを備えた、スイッチのバックパックは持ち運びに最適です。レスキューコンテナーはバックパックモードではしっかりと固定され、レスキュー開傘の場合は容易に引き出すことができます。フライトに際して背部収納ポケットは必要に応じてファスナーで圧縮して小さくすることが出来ます。



# スイッチ解剖図







ファスナーとスライダーの位置:パート1

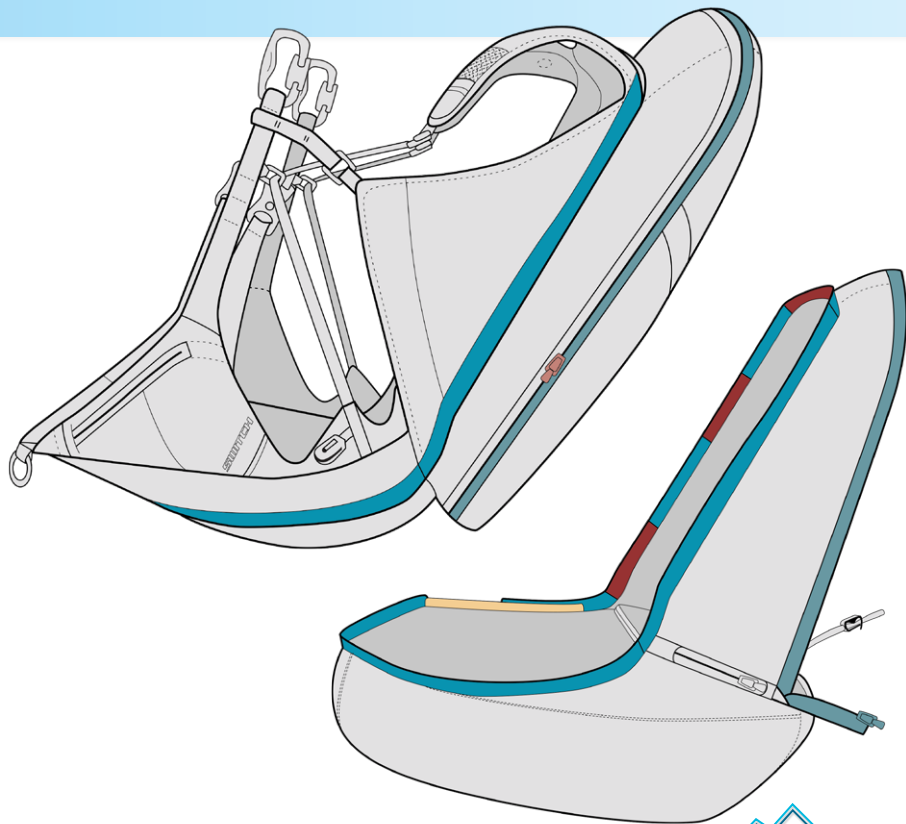
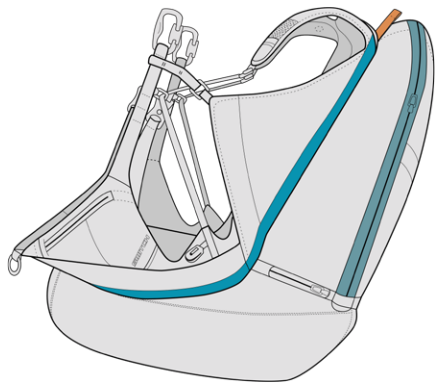
-  スライダー A/ ファスナー 1
-  スライダー B/ ファスナー 2
-  スライダー E/ ファスナー 3
-  ベルクロ
-  スライダー C
-  肩アタッチメント



# スイッチ解剖図

ファスナーとスライダーの位置:パート2

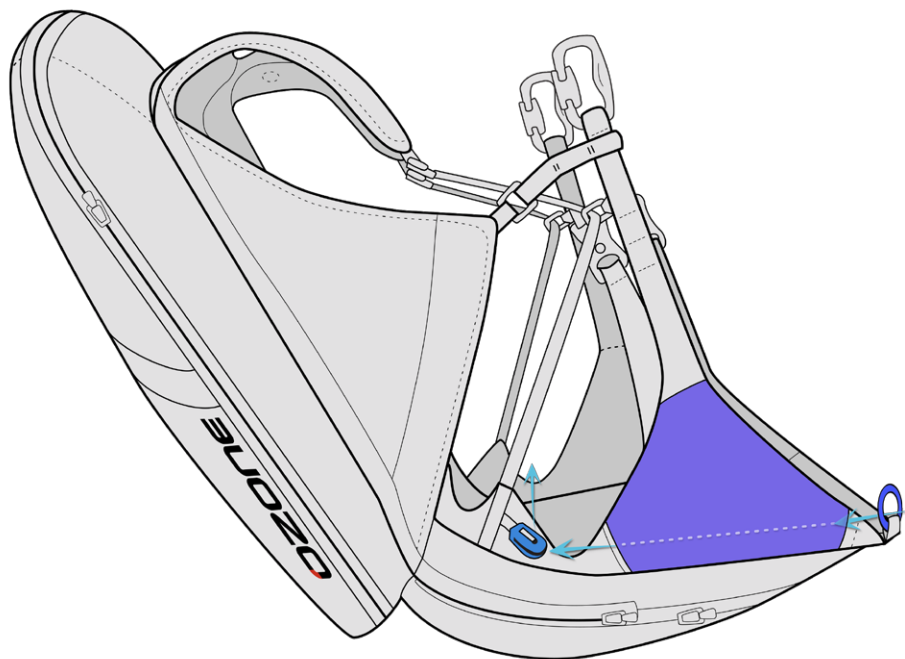
-  ファスナー 1
-  ファスナー 2
-  スライダー F / ファスナー 4
-  ベルクロ
-  スライダー D
-  肩アタッチメント



# アクセルシステム

アクセルシステム用パーツの位置

- ロンスタブーリ
- 金属リング
- 保護スリーブ





## アクセルのセットアップ

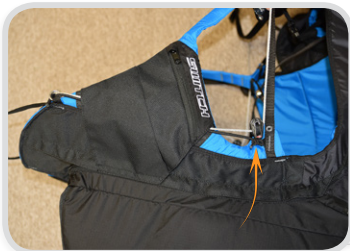
軽量一体型スピードシステムが標準装備されています。足で操作するアクセルシステムがグライダーに装備されていない場合は、ハーネスに組み込まれているラインとバーを取り外すことをお勧めします。システムを交換する必要がある場合は、次の手順に従ってください。



アクセルラインを金属リング、保護スリーブの開口部の順に通します—保護スリーブ内に通す際にプラスチックワイヤー等を利用すると通しやすくなります。



ゴムロープでも同じことを行い、適切な結び目を使用してプーリー取り付けループに結びます。



アクセルバーを適切な結び方でライン及びゴムロープに取り付けてください。飛行中そうすることが安全な状況で、バーに簡単に足がかけられシステム全体がフルアクセルまでスムーズに作動することを確認してください。



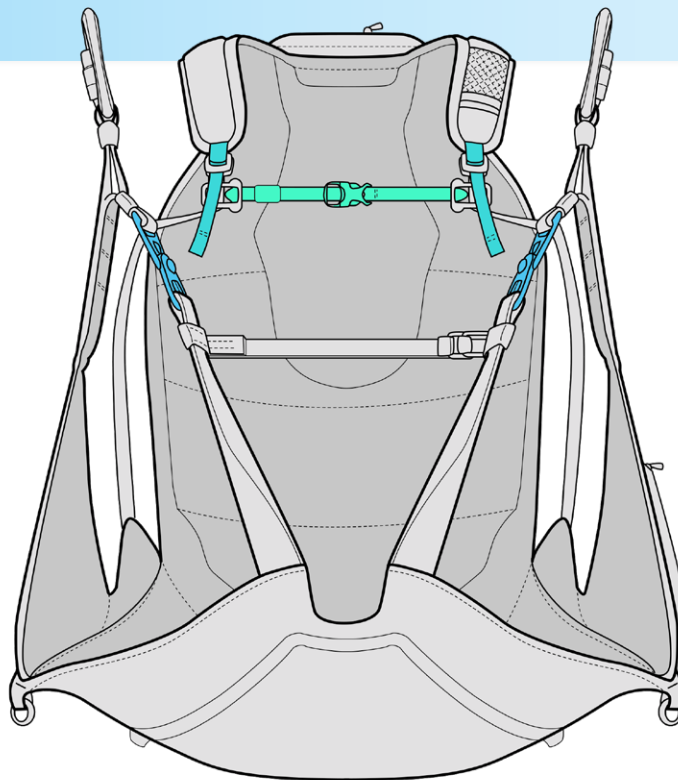
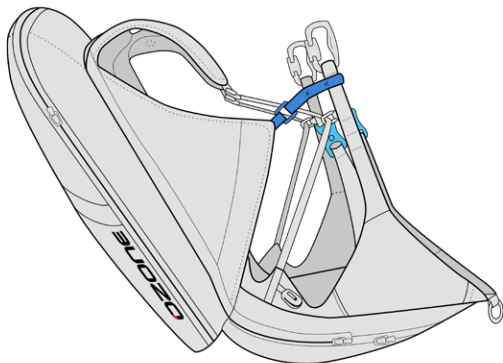
**重要:** アクセルロープの長さは左右同じ長さでなければなりません。空中でテンションがかかった場合に予期せずアクセルが作動してしまうのでアクセルロープの長さが短か過ぎではないことを確認してください。飛ぶ前に地上で長さと左右の対称性を再度確認してください。



# 装着/調節

調節システムの位置

- 肩ベルト保持クラブ
- 肩ベルト調節
- レッグ・チェストベルト締結バックル
- リクライニング角度調節



初めてフライトする前に、シミュレーターにぶら下がり、フィット感を確認しハーネスの特徴や調整に慣れるように推奨します。最もしっかりとるように肩ベルトを調整し、快適なリクライニング姿勢が取れるようにリクライニング角度を調整してください。その後、あなたに完ぺきに合ったセッティングを見出すための微調整は最初の飛行中に行うことが可能です。

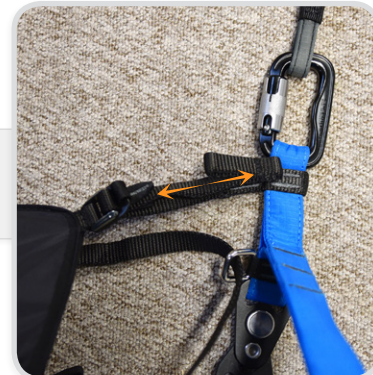
### 肩ベルト

肩ベルトの長さは調節テープを使って調節することができます。ハーネスを装着して立った姿勢で、快適にしっかりとるように調節します。シミュレーターにぶら下がって着座姿勢で肩ベルトが快適で体をしっかりとホールドしているかを確認してください。きつ過ぎても緩過ぎても良くありません。



### リクライニング角度調節

リクライニング角度は快適なフライト姿勢が取れるように調整します。背中全体が完全にサポートされ腹筋を使わなくても快適な姿勢が取れるように正確に調整します。この調整はフライトでの快適性に大きく影響するので慎重な調整が必要です。過度に緩くすると、フライト中寝そべり過ぎた姿勢になります。





### レッグベルト/チェストベルト

グロックバックルでレッグ/チェストベルトを締結します。バックルの開閉には赤いボタンを押し下げます。赤いボタンを押し下げるように大きい穴を銀色の突起に合わせてからバックルをスライドさせます。そうすると赤いボタンは飛び出てバックルはロックされます。



バックルが正しくロックされている(赤いボタンは飛び出てメスバックルがすっかり引き下げられバックル内に収まっている)ことを確認してください。



バックルを外すにはまず赤いボタンを押し下げ、次にバックルを前方にスライドさせます。

レッグベルトの長さは慎重にセットされており調節することは出来ません。体重移動を最大にするにはチェストベルトの長さを最大にするします。ロール安定を大きくするにはチェストベルトを短くします。あなたのフライトスタイルに最も合つかつ総合的な快適性を見つけるにはテストフライトをして調節することが重要です。





### 肩ベルト保持クリップ

次に肩ベルト保持クリップを締結します。

### 背部収納ポケット調節

背部収納ポケットはスピードフライングモードでファスナー3および4からスライダーCおよびDを取り外すことで大きくすることができます。

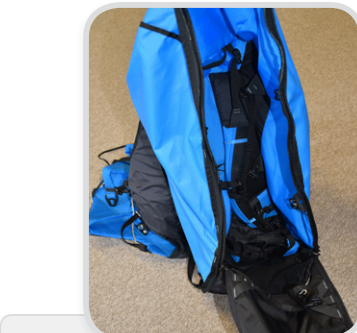


# バックパックモード

ハーネスをバックパックモードへ変換する



ハーネスの背面に位置するスライダー-Cとファスナー-3と共にスライダー-Dとファスナー-4を開放します。



背面収納ポケットのファスナーをすっきり開放し、内側を外側にひっくり返します。



レッグサポートおよびすべてのベルトをきれいにたたみます。

グライダーはハーネス構造物の上に収めることが出来ます。



## ハーネスモード

バックパックモードからハーネスモードに変換するには、上記手順を逆順で行います。



# パラグライディングモジュール

パラグライディングモードに変換する

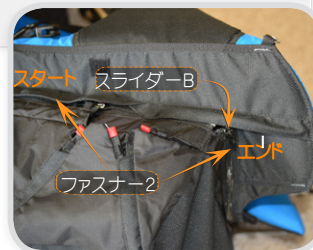
## パラグライディングモード

シート下部プロテクション/レスキューコンテナモジュールはオプションとして購入することが可能です。パラグライディングモードはパラグライディング、ハイクアンドフライあるいはミニウイングフライングー対地高度が高くなりそうでレスキューパラシュートおよびプロテクションによる安全性が要求されるあらゆる場面において最適です。パラグライディングモジュールを組み込むには4.5ページを参照し以下の手順に従ってください:

ハーネスのスライダーAをユニットのファスナー1に接続し、完全に閉めます。



スライダーBをファスナー2に接続し、完全に閉めます。ファスナー2はハーネス全体をぐるりと一周します。





サイドおよび肩部のベルクロを貼りつけます。

肩部ベルクロを貼り付ける際、レスキュー取り付け部をきれいに収めてください。



スライダー-Eをファスナー-3に接続し、閉めます。







スライダーFを反対側のファスナー4に接続し、閉めます。



ファスナー末端のホックを確実に締結してください。

背部のベルクロをきれいに貼りつけます。



## レスキューパラシュートの組み込み

スイッチにはシート下部に内蔵されたレスキューコンテナが装備されており専用のインナーコンテナが付属しています。レスキューコンテナおよびインナーコンテナは3~6Lの容量のレスキューに対応しておりエンジェルSQ140や操縦可能なロガロタイプを含む最新のレスキューパラシュートを収納することができます。

**注意:** レスキューパラシュートを組み込むには、パラグライディング用モジュールをハーネスに相込んでおく必要があります。

**警告:** オゾンレスキューパラシュートの組み込みは資格のある専門家によってなされるよう強く推奨します。疑問があるならば常に専門家のアドバイスを受けてください。

レスキューの組み込みが終了したらシミュレーターにぶら下がってレスキューの引き出しチェックを確実に実施してください。レスキューシステム全体が正しく機能するかの確認ができるだけでなく、組み込み過程をより理解する手助けとなります。

**注意:** パラシュートは右腕でのみ引き出すことが可能です。

レスキューを収納するには、まず付属のインナーコンテナの形状と寸法に合わせてレスキューをパッキングしなければなりません。また専用のスイッチ用インナーコンテナを使用しなければなりません。





レスキューパラシュートを組込む前に、必ずパラシュート用モジュールをハーネスに組み込んでおく必要があります。ハーネスの右前方に位置するスライダー-Bを使用してファスナー-2をすっきり開放します。

レスキューブライダルを適当な接続部品(オプション)を使用して肩口にある接続ポイントに取り付けます。

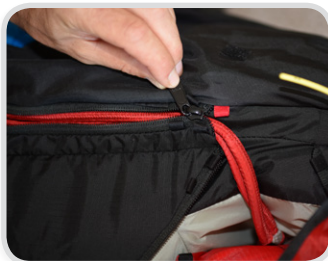


レスキューブライダルをスリーブの沿って収納しスライダー-Bを使用してファスナー-2を閉めます。

スライダー-Bを使用してファスナー-2を締めます。



**注意:** スイッチにはブライダルが短いレスキューパラシュートのみが適しています。



ハーネス側のブライダルが正しく写真のようにレスキューコンテナまで導かれていることを確認します。またファスナー2が完全に閉じられていることを確認してください。

ハーネス側のブライダルとレスキュー側のブライダルを適切なコネクター（オプション）を使用し  
て接続し、O'リング（オプション）でブライダルを固定します。



インナーコンテナを矢印と①がレスキューコンテナのメインフラップのものとがマッチングする  
ように手際よく収納します。サスペンションラインは写真では最上部に位置するようになります。



次にインナーコンテナのトグルが付いているフラップを点線に沿って折り曲げ、小さな矢印の頭が大きな矢印とマッチングするようにします。



インナーコンテナ側の②とレスキューコンテナ側の②がマッチングします。

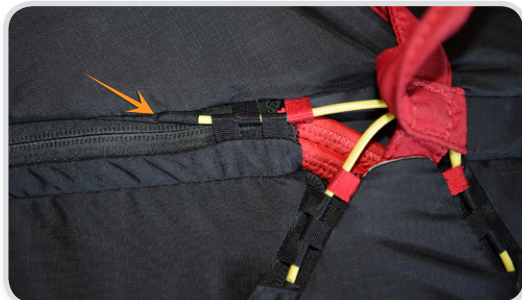


トグルの黒いタグをプライダルとハーネスの間にスライドさせて、所定の位置に保持します。



黄色の固定ピンをピンアイレットに通します。ハーネス側プライダルに近い方の固定ピンから始めます。各ピンは最初に赤いアイレットから通してゆきます。各アイレットを順番に通して行き、間違えて通し忘れをしないように注意してください。





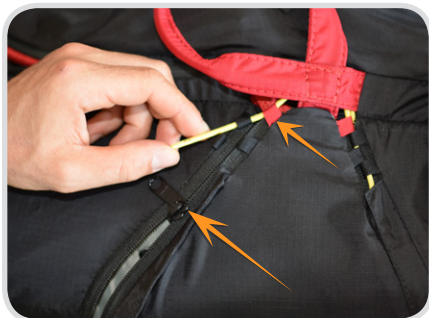
ピンの先端は確実に固定するために  
終端ポケットに差し込みます。

次に、もう一方の上側ピンをアイレットに  
通します。赤いアイレットに最初に通すこ  
とを忘れないでください。



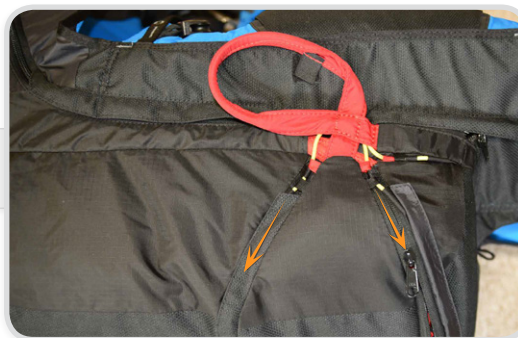
両方のレスキューコンテナー閉めファスナーをできる限りレスキューブライダル  
に近づけます。次にコンテナーを閉めるために反対側にスライドさせます。この  
段階ですっかり閉めないように。ピンアイレットが定位置に来るのに必要なだ  
け閉めれば十分です。





下側両方の黄色のピンをそれぞれ対応するアイレットに差し込みますー赤いアイレットが最初です。各サイドのアイレットをピンが正しく通って確実に固定されていることを確認してください。

次にレスキューコンテナーおよびブライダル収納閉めファスナーをすっかり閉めることができます。



スライダーを赤いタグ内に収めます。



## シート下部プロテクションの脱着

スイッチは、EN/LTF/CE認定された膨張式シート下部プロテクターを備えています。巧妙に設計されており、軽量で体積が少ないにもかかわらず、優れた衝撃吸収特性を提供します。オプションのパラグライディング用モジュールは配送時にレスキューパラシュート/プロテクションユニットが装着されていますが、取り外したり交換したりする必要がある場合は、以下の指示に従ってください:

プロテクションは、ファスナー付きレスキューパラシュート/プロテクションユニットのポケット内に有ります。



ストッパーのロックを解除してパイプから完全に取り外します。

プロテクションを収縮させて、ポケット扉の穴からパイプを抜き取りプロテクションを取り出します。

バックプロテクションのインストールは、この手順の真逆となります。





シート下部プロテクションを膨らませる

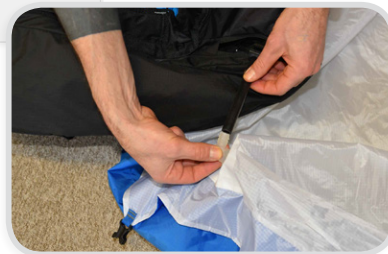
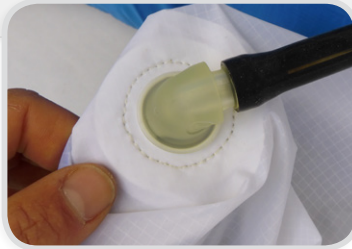


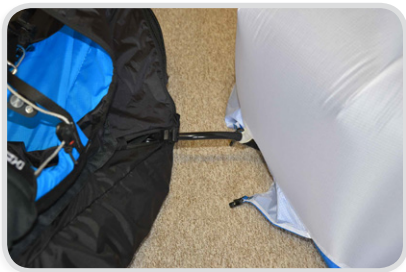
付属の特製袋の中に閉じ込められた空気を利用して、プロテクションを手動で膨らませます。

プロテクションを膨らませるにはレスキューパラシュート/プロテクションユニットのサイドファスナーを開いて、膨張パイプにアクセスします。



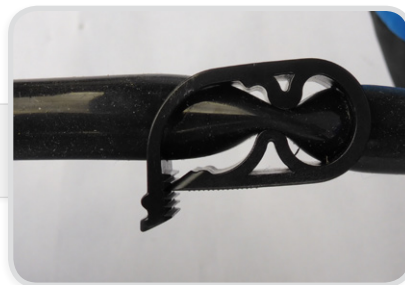
ストッパーが開いた位置にあることを確認し、膨張パイプを特製袋の吐き出し口に取り付けます。





特製袋の頂点を手でしっかりと丸め込みながら内部の空気を閉じ込めつつ、  
圧搾して内部の空気をプロテクションに移します。

プロテクションが完全に膨らんだら(特製袋を使用して空気を容易に追加できない  
ほど)、膨張パイプストッパーを閉じます。ストッパーが確実に閉じられているのを  
確認しパイプをユニット内に収めます。



ハーネスをリバースする(ザックモードに)ためにプロテクションを収縮させるには、膨張パイプのストッパーを開き、プロテクションから空気を静かに  
押し出します。

**重要:** 膨張パイプをポケットにしまう前にストッパーが正しく閉められていることを確認してください。そうしないと、空気が漏れ、プロテクション  
機能が動かなくなります。



# パラグライディングからスピードフライングへ

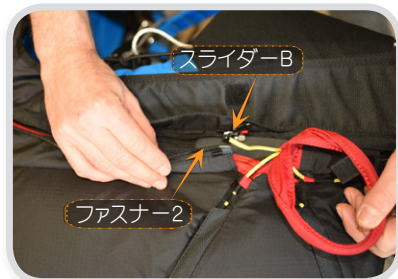
パラグライディングモードからスピードフライングモードへ変換する

スイッチはレスキューパラシュート/プロテクションモジュールを取り外すことですぐ簡単にパラグライディングモードからスピードフライングモードに変換することが出来ます。

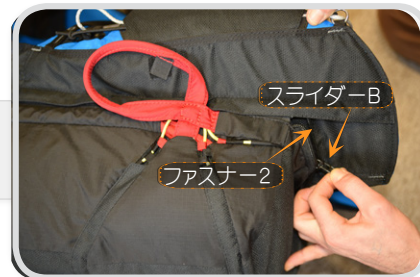
スピードフライングモードはスピードフライングあるいは大気が静穏で対地高度が大きくなる状況でのフライトに限って使用することを推奨します。



モジュール背部にあるファスナー3および4からスライダーEおよびFを取り外します。



右前方端に位置するファスナー2のスライダーBをレスキューパラシュート固定ピンまですっきり移動しモジュールを開放します。



他のピンを引き抜かないように注意しながら上部パラシュート固定ピン1を引き抜きます。





露出したファスナー1のスライダーAを取り外し、肩口の接続ポイントからレスキューブライダルも取り外してレスキューパラシュート/プロテクションモジュールを完全に取り外します。

背部ポケットを圧縮したい場合はファスナー3にスライダーCを取り付けファスナーを閉めます。反対側のファスナー4およびスライダーDも同様にします。

注意:スピードフライングモードで大きな背部ポケットが必要であれば、スライダーC,Dをファスナー3,4に取り付けてファスナーを閉める必要はありません。



ポケット底部をたくし上げます。これでハーネスはスピードフライングモードに変換されました。



# 使用法・保守

## グライダーとの接続



カラビナを交換する場合は、適切な寸法で写真のように正しくフィットすることを確認してください。

メインハングポイントに取り付けられたカラビナにライザーを接続します。Aライザーが外側に向くように注意してください。



このハーネスにはそれ以外にカラビナを適切に取り付ける場所はありません。

### プレフライトチェック

テイクオフ前に徹底的なプレフライトチェックを行うことが重要です。

- レスキューのクローズピンが正しく機能して、レスキューコンテナー周辺のファスナーが閉められているか確認
- 構造部材のテープが破損していないか確認
- カラビナに亀裂が入ったり、疲労の形跡がないか確認
- ライザーがねじれておらず正しくカラビナに取り付けられているか確認
- アクセルシステムがベルトなどに絡んだりしておらず正しく締結されているか確認
- 全てのポケットがしっかりと閉められているか確認
- レッグ/チェストベルトが正しく締結されているか確認
- 肩ベルト固定クリップが正しく締結されているか確認
- レッグベルトの再確認



## レスキューの開傘

もしレスキューを投げると言う不運な状況に陥ったら、確信を持って投げてください:

### 見て:掴んで:引き出して:投げる。

- トグルを見て、掴んで、クローズケーブルが開放されるまで引く。レスキューは右腕でのみ投げることが可能です。
- インナーコンテナを引き出す。レスキューがコンテナからハーネスの側方へ引き出されるように外方向へ引き出すのがベストです。トグルを上方向に引っ張り上げてもレスキューが引き出されない可能性があります。装備を理解し、それに合わせたテクニックを用いてください。
- レスキューをグライダー方向ではなく、思いっきり障害物のない外側のスペースに放り投げる。この際トグルも一緒に投げることを忘れないようにすることが重要です。開傘を速くするために空気の流れの方向そして回転方向と反対方向へ投げるようにしてください。
- もしレスキューを投げても開傘しない場合(エネルギーの低い緊急事態、例えばディープストールなど)は、レスキューブライダルを掴んで力強く引いてください。このようにすると開傘を速める効果が期待できます。
- レスキューが開傘したら次はパラグライダーを無効にすることです。その方法としてはいくつかあります—Bラインストール、リアライザーストール、Aラインを手繰り寄せてキャンピーを抱きかかえる、ブレークを使用してストールさせる。最良のテクニックは状況によって変わります。最も重要なことは、グライダーがレスキューの動きに逆らってダウンプレーン状態にならないように完全にグライダーを無効にすることです。どの方法を選択するにしてもグライダーが回転しないように左右対称にしてください。そうしないとグライダーがレスキューに突っ込んでレスキューが正常に機能しなくなります。
- ほとんどのハーネスのレスキューブライダル取り付け位置により、レスキューを開傘すると自動的にパイロットの姿勢はPLF態勢(脚が下に向く)になります。もしそうならない場合は、着陸時の衝撃を脚で吸収できるように、どんなことをしてもこの姿勢になるようにしてください。
- 緊急事態やレスキューを開傘した状況で着陸する際は常にPLF態勢を取ってください。

## トーイング

スイッチはトーイング使用に適しています。トーイングブライダルはメインカラビナに取り付けなければなりません。疑問がある場合は、資格のあるトーイングインストラクターに質問するかあるいはトーレリースシステム付属の取扱説明書を参照してください。

## 外部レスキューコンテナ

追加的レスキューコンテナ(オプション)をスイッチに追加することは可能です。コンテナ及びブライダルの固定にはメインのカラビナを使用してください。



## 着水

着水した後はレスキュー、シート下部プロテクションを取り外し乾燥させます。もし海水に着水した場合は、塩の痕跡が完全に除去されるまでハーネスおよびすべての部品を清水を使用してしっかりと清掃する必要があります。再組立てする前に、ハーネスおよびすべての部品が完全に乾いていることを確認してください。

**重要:** 着水した場合、シート下部プロテクションおよび背部部分の浮力によってパイロットの顔面を水中に抑え込む危険性があります。着水したらすぐさま全てのベルトを開放し、ラインに絡まらないように注意してハーネスから離れてください。

## 保守

適切に保守をすればあなたのハーネスは多数のフライトおよび長年持つことでしょう。ハーネスをグリーンで耐空性を持ち続けるようにするには、以下のことに注意してください：

- 紫外線、熱、湿気に過度にさらさない。
- ハーネスを乾燥させてたたみ、涼しくて乾燥した場所に保管する。
- 決してハーネスを引きずらない。特にランディング時。
- 埃や油、その他の腐食性物質から遠ざける。
- 清掃には水と布を使用する。

## 検査

安全のためにすべての装備を定期的に検査することが極めて重要です。オゾンとしては通常のプレフライトチェックの他に12か月ごとの検査を推奨します。検査には縫製部、テープおよび構造的に重要なすべての部分を目視でチェックします。摩耗が最も起こりやすいカラビナ周りのテープには特に注意が必要です。

もし何らかの損傷を発見するか疑問がある場合はハーネスを専門家に検査してもらってください。

## 廃棄

ハーネスの寿命が来たならば、すべての金属パーツを取り外してから環境に優しい方法で廃棄してください。



## オゾン品質保証

オゾンでは我々の製品の品質に大変こだわっています。全てのオゾンハーネスは自社工場で最高のスタンダードに沿って作られています。製造されるハーネスの全てが一連の厳しい品質検査を受け、使用される部品は全て追跡調査が出来るようになっています。我々はユーザーからのフィードバックを大いに歓迎しますしカスタマーサービスも忘れていません。通常の磨耗や破損あるいは不適切な使用によるもの以外の製造上の欠陥および不具合に対していつでも無料で修理を行います。また、オゾンならびに代理店は、最高品質のサービスと修理を提供しています。ハーネスに破損、摩耗などの不具合が見つかった場合には適切な価格で修理をいたします。

ディーラー、代理店に連絡が取れない場合には、オゾンに直接コンタクト (info@ozone.com) してください。

### 最後に

安全に飛ぶことがこのスポーツで最も重要なことです。安全であるためには定期的に練習をし、周りに存在する危険を理解しなければなりません。このためには、出来るだけ定期的にフライトし、可能な限りグランドハンドリングをし、気象に関して常に興味を持たなければなりません。これらのどれ一つでも欠けていければ、不必要にあなた自身を危険にさらしていることになります。

毎年多くのパイロットがテイクオフで怪我をしています。その仲間入りをしないようにして下さい。テイクオフが最も危険に晒される瞬間です。テイクオフの練習をたくさん行ってください。いくつかのテイクオフエリアは小さくて難しく、コンディションも常に理想的ではありません。もしあなたがグランドハンドリングに長けていたなら、他の者が苦しんでいたとしても確実に安全にテイクオフすることが出来るでしょう... 出来る限り練習を積んでください。怪我をする確率は減り、素晴らしいフライトを楽しむ確率は上がるでしょう。

環境に配慮し、あなたのフライトエリアを守ってください。ハーネスに寿命が来たなら、全ての金属パーツを取り除き、環境に優しい方法で廃棄してください。

最後に、自然を敬ってください。自然はあなたが想像するより遥かに大きな力を持っています。あなたの技術レベルに照らし合せて適切なコンディションがどの程度であるかを理解し、その範囲内に常に留まってください。

スイッチで楽しいフライトを

オゾンチーム





## 仕様

	S/M	M/L
重量 (kg)	2.0	2.2
推奨されるパイロット身長 (cm)	160 - 175	175 - 195

パラグライディングモジュール:バックプロテクション、カラビナ、レスキューブライダル 725g

## 素材

## ハーネス外装生地

ドミニコ 40D, 70D, fab Geo

## バックパック外装生地

ドミニコ 40D, 70D, fab Geo

## メインテープ

テクニシングル 7

## レスキューブライダル

ダイニーマ 6mm

## バックル

オーストリアルパン HS150

## カラビナ

エーデルリッド製フォラス

## 認証

スイッチは、最大荷重120kgでEN1651:2017およびLTF認証を取得しています。またシート下部膨張プロテクションはCRITT(フランス)によりCE認証を取得しています。



このハーネスに関するお問い合わせ先:  
輸入者:ファルホークインターナショナル有限公司  
〒154-0021 東京都世田谷区豪徳寺1-53-12  
Tel: 03-5451-5175  
Email: [info@falhawk.co.jp](mailto:info@falhawk.co.jp)  
URL: [www.falhawk.co.jp](http://www.falhawk.co.jp)



1258 Route de Grasse  
Le Bar sur Loup  
06620  
France

*Inspired by Nature, Driven by the Elements*  
[www.flyzone.com](http://www.flyzone.com)